

**こども・若者がいきいき暮らすまち たつの
～たつの市こども計画策定の具体化に向けて～**

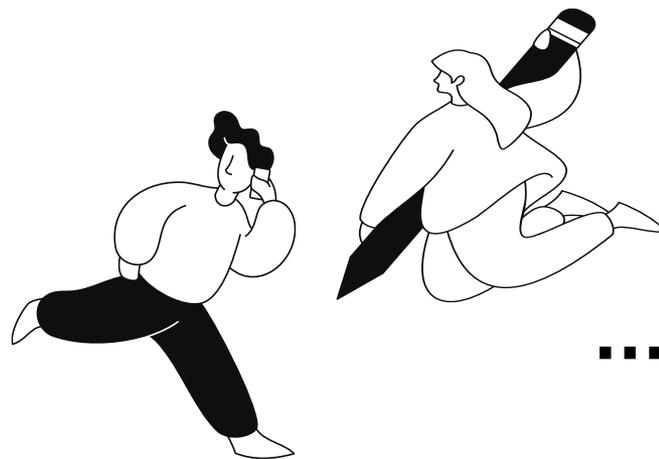
2024年7月20日

@たつの市 御津公民館 文化ホール

同志社大学政策学部田中宏樹ゼミ3回生こども計画チーム

新谷ひなの・田村健祐・中尾明莉・二越友香・湫真白

目次



01. 提言に至る道筋	… 3
02. 具体的内容	… 14
I かけはし広場（子育て支援）	… 15
II たつのはぐくみの樹（不登校対策）	… 37
III 仕事体験week（就職支援）	… 70
03. 本提言のまとめ	… 91
04. 参考資料・参考文献	… 93

01

提言に至る
道筋

提言に至る道筋

本提言の目標



「こどもまんなか社会」の実現に向けて、
地域でこどもの学びと育ちを支える
たつの市「こども計画」を具体化する



提言に至る道筋

「(仮)たつの市こども計画」を策定するにあたって



こども大綱

幅広いこども政策に関する
方針と重要事項などを一元化



勘案



都道府県こども計画



勘案



市町村こども計画

(仮)たつの市こども計画

- 各法令等に基づくこどもに関する計画等を作成
- 地域の実情に応じて個別に計画を作成

提言に至る道筋

こども大綱 こども施策に関する基本的な方針

- ① **こども・若者**を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、**こども・若者**の今とこれからの最善の利益を図る
- ② **こどもや若者**、**子育て当事者**の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく
- ③ **こどもや若者**、**子育て当事者**のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する
- ④ 良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全ての**こども・若者**が幸せな状態で成長できるようにする
- ⑤ **若い世代**の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として**若い世代**の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろ）の打破に取り組む



「第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画」



「(仮) たつの市こども計画」

基本目標

- [1] 家庭を基本とした子どもの心身の健やかな成長
- [2] すべての子育て家庭を支援する地域づくり
- [3] 子どもが心豊かに成長できる教育の充実
- [4] 安心して子育てができる生活環境の整備



5本目の柱に**若者支援**
(こども大綱より)

提言に至る道筋

三本の柱①：子育て支援

仕事と子育ての
両立が難しい

こどものより良い育ちを
実現させる環境

子育て支援



経済的支援などの
ほかにできることは？

提言に至る道筋

三本の柱①：子育て支援

(仮) たつの市こども計画

基本目標 [2] すべての子育て家庭を支援する地域づくり

- ・ 児童館の学習室をより多くの人に利用してもらいたい



児童福祉課様

- ・ こどもと大人が一緒に利用できる学習会があればよい
- ・ 保護者がこどもの宿題をみることは負担となる懸念



特定非営利活動法人いねいぶる
宮崎様

こどもが宿題に取り組める場を増設する

提言に至る道筋

三本の柱②：不登校対策

居場所づくりが必要

居場所が多いほど
自己効力感が高くなる

すべての子どもにとって
それぞれの居場所を見つける

学校を居場所とできていない
不登校のこどもの居場所は？



不登校対策

三本の柱②：不登校対策

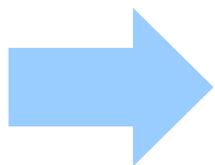
(仮) たつの市こども計画

基本目標【3】子どもが心豊かに成長できる教育の充実



学校教育課様

- ・たつの市で不登校が増加している
- ・不登校支援の1つとして学校内外サポートルームの設置が理想



不登校対策・支援の拡充に着目

提言に至る道筋

三本の柱③：就職支援

こどもだけではなく
若者も対象としたこども計画が必要

ライフステージに合わせた
支援の必要性

大学生ならではの目線で考える
就職支援のアイデアは？



就職支援

三本の柱③：就職支援

(仮) たつの市こども計画

基本目標【5】 若者支援

前計画段階では
若者は対象外

こどもだけでなく
若者も対象とした計画

就
労
・
就
職
支
援

若者がたつの市で
働きたいと
思うような政策を
考えてほしい

児童福祉課様



02

具体的内容

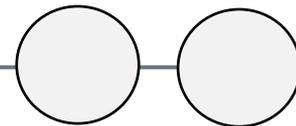
02-I

かけはし広場
(子育て支援)

こども大綱より

「子育て当事者への支援に関する重要事項」

子育て当事者が、**過度な使命感や負担を抱くことなく、健康で、自己肯定感とゆとりを持って、こどもに向き合えるようにすることが、こども・若者の健やかな成長のために重要である。**



「第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画」より

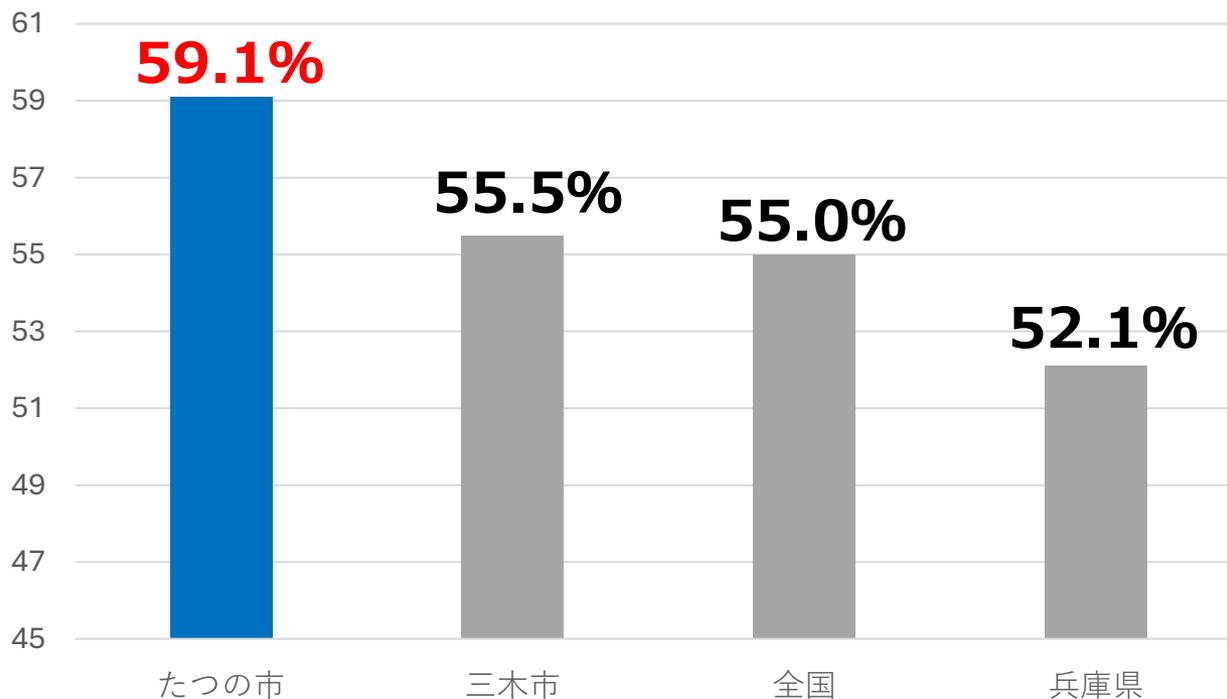
基本目標

【2】すべての子育て家庭を支援する地域づくり

こども大綱より
切れ目のない支援を目指す

幼児期にとどまらない縦断的な支援
が必要！

こどものいる世帯のうち、両親ともに働いている世帯の割合 (%)



たつの市では共働き世帯が多い
→ **こどもとの時間が十分に取れない**

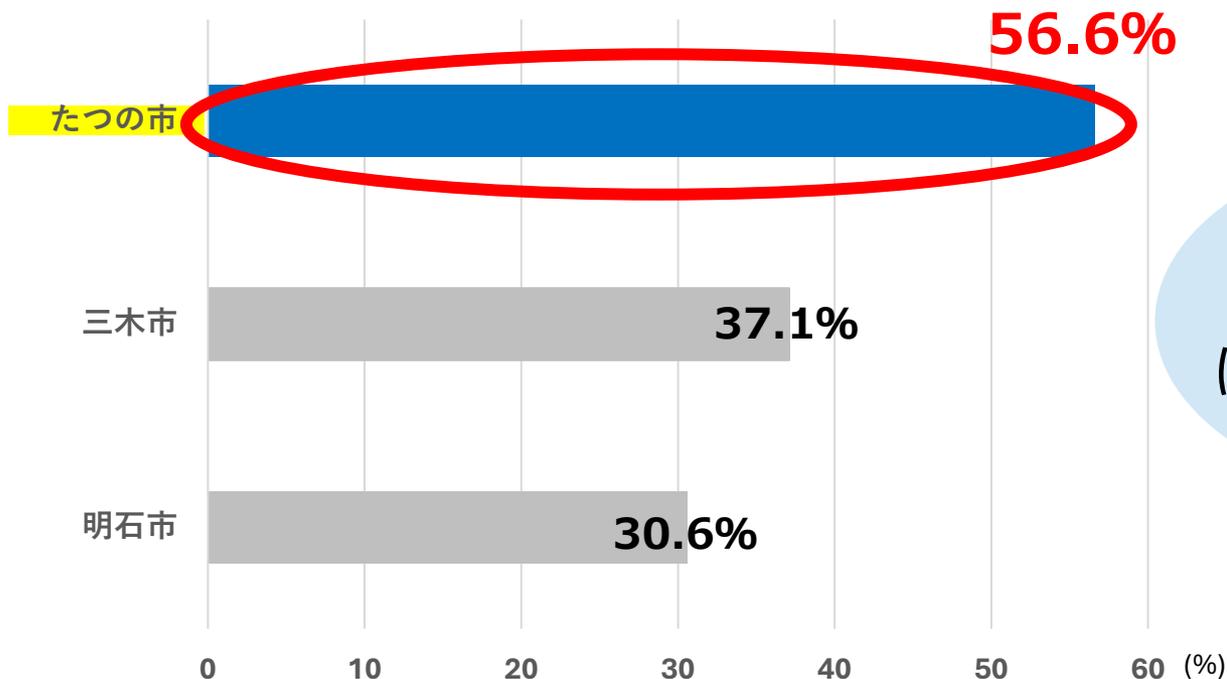
かけはし広場 (子育て支援)

I

現状分析

<他市との比較>

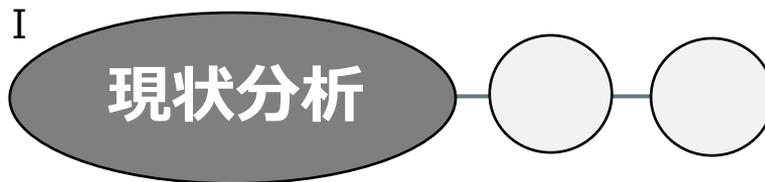
Q. あなたが子育てで不安や負担、気になることはどんなことですか。
という問いに「**こどもの教育**」と答えた人の割合



他市より
こどもの教育
に関する不安が多い

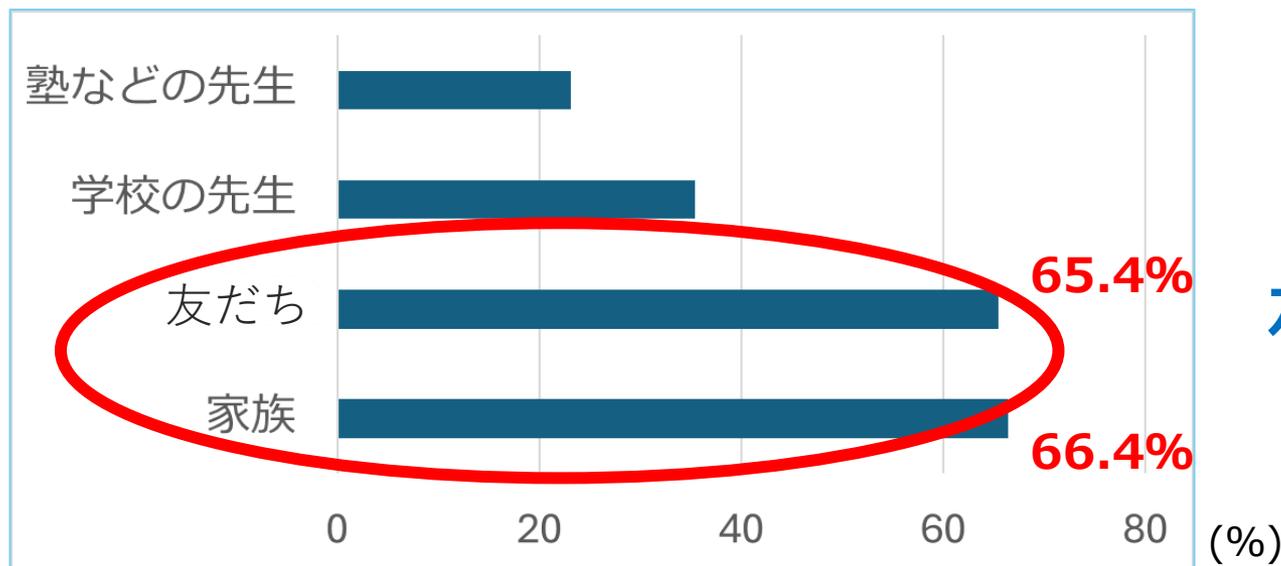
令和6年 たつの市こども・子育て支援に関するアンケート調査 (小学1~4年生の保護者) (計541人) へのアンケート調査
平成31年 三木市に居住する小学生児童の保護者対象 (計480人) へのアンケート調査
平成31年 明石市在住小学1年生~小学4年生の保護者対象 (計2768人) へのアンケート調査

かけはし広場 (子育て支援)



〈たつの市在住小学5年生～中学2年生（計800人）へのアンケート調査〉

Q. あなたは勉強で困ったとき、だれに相談していますか。



**こどもは
友だちや家族への
勉強相談が多い**

✓ 勉強で困ったときに
相談する相手 → **親**や**友達**

✓ 共働き家庭の増加傾向により
親子の時間をとることが難しい



相談したいタイミングで
相談ができない！

**問6.
学校の勉強で困ることがあるか**

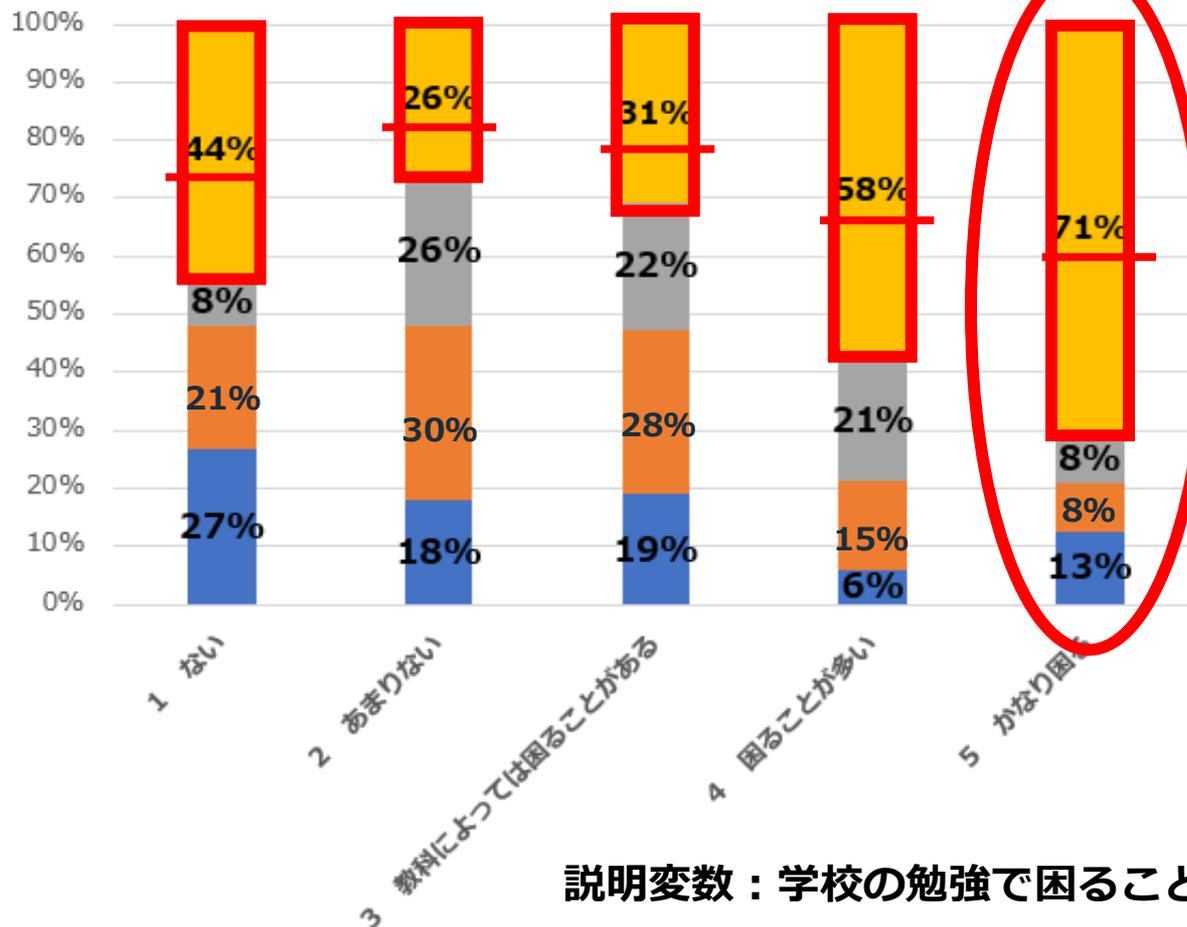


**問17-3.
家族(大人)との関わり(勉強をみてもらう)こと
があるか**

かけはし広場 (子育て支援)

I

現状分析



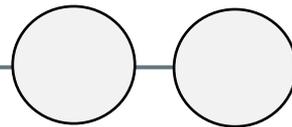
被説明変数：
家族に勉強をみてもらう
ことがあるか

問17-3

- 4 いいえ
- 3 どちらかといえば・いいえ
- 2 どちらかといえば・はい
- 1 はい

説明変数：学校の勉強で困ることがあるか

**学校の勉強に困っているこどもたちは
家族や大人に勉強をみてもらっていない傾向がある**



アンケート調査自由記述欄より

**親同伴も可能な小学生でも使える
自習室を整備してほしい**

小学2年生 保護者



**公共施設を利用して地域塾のような学習
できる場所を増やしてほしい**

小学5年生 保護者



**自治会で勉強を無料で見てくれる
場所をつくってほしい**

小学6年生 保護者



放課後の大人との関わりの中でこどもの
主体性・当事者意識が伸びる

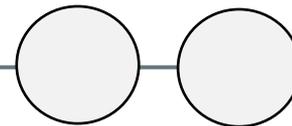
しかし

特に共働き世帯、ひとり親のこどもは
一人で宿題する機会が多い

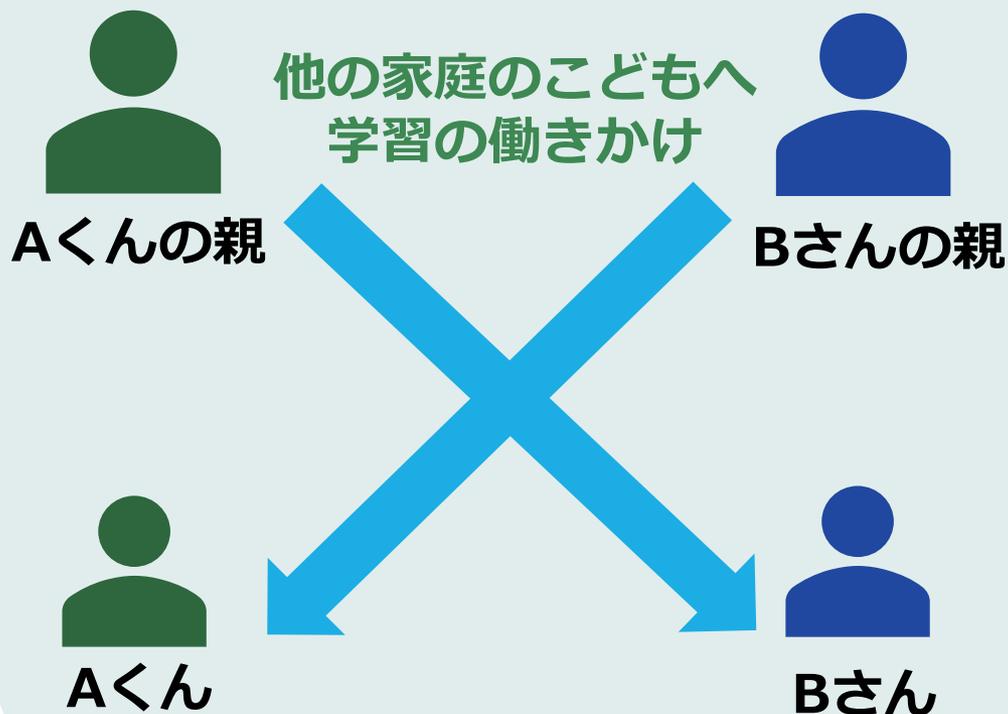
地域で学習支援を行う
体制が必要



特定非営利活動法人いねいぶる
理事長 宮崎様



小宅コドモキッチンでの学習支援の例



なぜ？

→子どもは普段接しない
大人の言うことを素直に
聞く傾向



特定非営利活動法人いねいぶる
理事長 宮崎様

○保護者の教育負担

学校で出る宿題は、**保護者に関わりを求めるもの**が少なくない

計算ドリルや問題集の
丸付け



間違い直し

音読を聞く



「(保護者は)宿題に関わりたくても忙しすぎて関われない。
こうした親の状況をわかっているからこそ、
(分からないところを)子どもも親に言い出せない。」

(岩手県立大 櫻幸恵教授 による)

～子育ての視点から考える～

こどもの学習を支援し
家庭内における保護者の教育負担を軽減する
とともに親子の関わりを増やす



かけはし広場 (子育て支援)

I

政策手段

- ・ 親同士の交流の場
- ・ こどもに勉強を教える負担が減る

- ・ 支援員がこどもに勉強を教える、または友達との教え合い

子育て支援



学習会



こども・友達・保護者のつながり

「かけはし広場」

かけはし広場 (子育て支援)

I

政策手段

大阪府東淀川での事例

「しゅくだいカフェ」とは



こどもたちが宿題をやって遊ぶ場所
全国で2000名以上のこどもたちが利用

目的

- ・ こどもたちが安心・安全に**学び、遊べる場所**をつくる
- ・ 宿題を終わらせて帰ることで、
家での**親子のコミュニケーション**を増やす



しゅくだいカフェの苦勞

場所の確保が難しい



公民館や児童館の利用

こどもが本当に来るのか



市を通しての広報
アピール

住民のニーズはあるのか



現状分析よりたつの市
ではニーズがある

市の事業として学習会を行う **メリットがある**

かけはし広場 (子育て支援)

I

政策手段

「かけはし広場」

【放課後編】

こども

〈公民館や児童館〉

学校の宿題を
一緒に取り組む



支援員が児童の
学習の手助け

保護者

〈家〉



ごはんの準備



掃除

〈仕事場〉



仕事

かけはし広場 (子育て支援)

I

政策手段

「かけはし広場」【長期休み編】

長期休みの土日に実施、
親子で参加

こどもたちが
長期休みの宿題に取り組む



大人とこどもの関わり増やす
〈できたことを褒める〉
→自己肯定感UP



親が他の家庭の
こどもに働きかけ

親同士の**情報共有**

02-II

**たつのはぐくみの樹
(不登校対策)**



こども大綱より

「すべてのこどもが能力・可能性を最大限に伸ばして、
それぞれの夢に挑戦できるように」

学校を地域に開かれた
プラットフォームと位置づけ
関係機関の連携によって苦しい状況のこどもを
支援につなげる必要性



こども大綱より

「ライフステージ別の重要事項」より 「不登校のこどもへの支援」



学校内外の教育支援センターの設置促進・機能強化

SC・SSWなどの専門家に**いつでも相談できる環境**の整備、
アウトリーチの強化

「居場所づくり」

全てのこども・若者が多くの居場所を持つことができるよう、
社会全体で支えていく必要性



「第2期たつのはぐくみの市子ども・子育て支援事業計画」より

基本目標

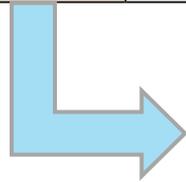
- 【3】子どもが心豊かに成長できる教育の充実
 - 「生きる力」が子どもに育まれるよう、
家庭・地域・学校が連携・協力した事業の推進

「第2期たつの子ども・子育て支援事業計画」より

[施策の方向1] 子どもの成長を支える教育の充実

[基本施策1] 幼児教育及び学校教育の充実

いじめなどへの 相談体制の充実	学校や家庭、地域との連携を図り、いじめ、不登校などの悩みの早期発見・早期解決のため教育相談専門員及び適応教室指導員を中心とした相談体制を充実していきます。	児童福祉課 学校教育課
--------------------	---	----------------

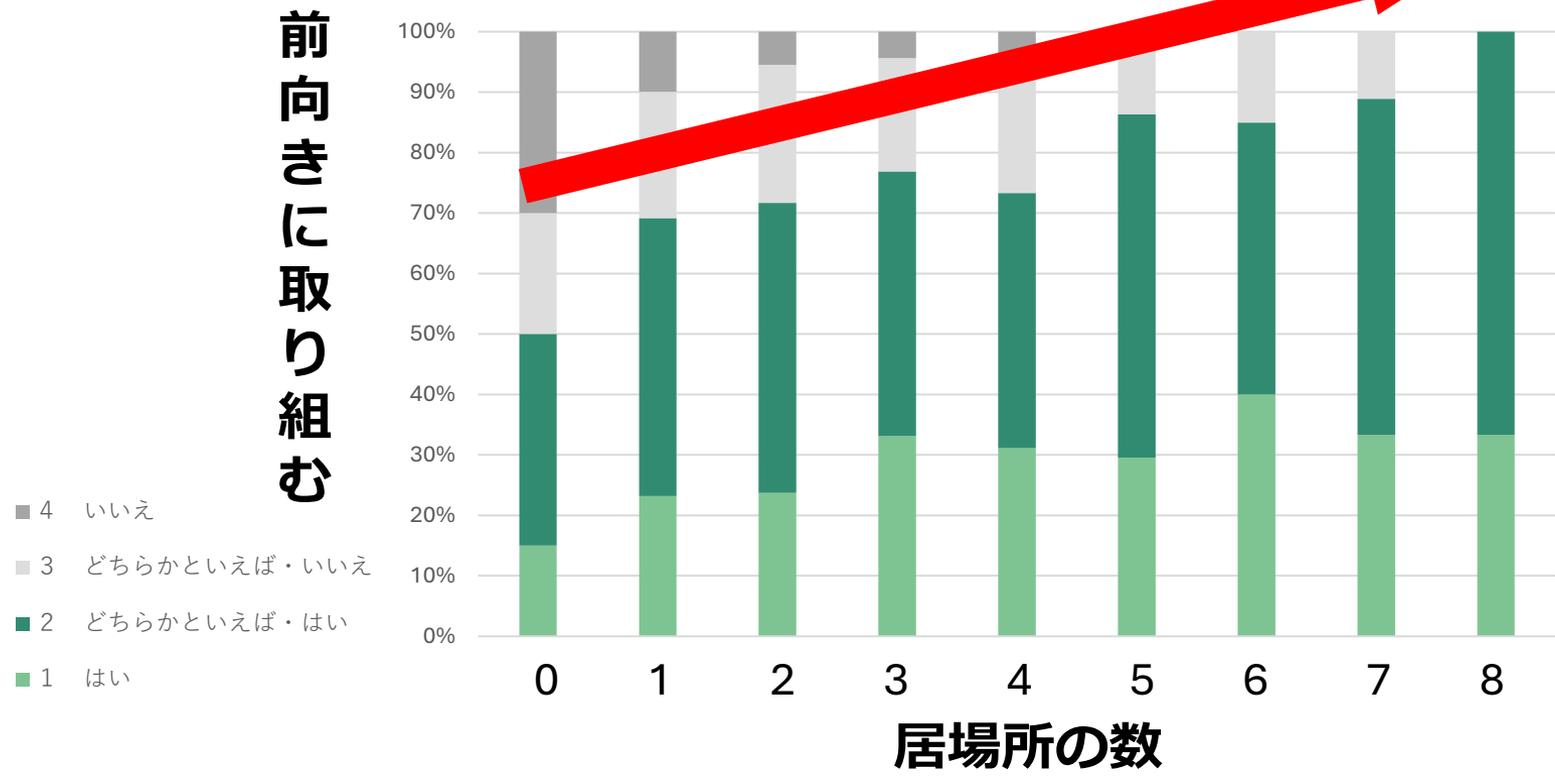


**相談体制の充実に加え、
支援体制の強化を図る必要性**

不登校対策COCOLOプラン【文部科学省より】

- ・ 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）の設置促進
- ・ 多様な学びの場、居場所の確保等 ・ こどもの居場所づくりの支援

たつの子どもの対象のアンケート結果より



居場所の数が多いと子どもは前向きに取り組みやすい

こども大綱において

こどもの居場所の拡充を重要視

「第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画」では
児童館でのこどもの居場所づくり

にしか言及されていない

こどもの居場所を増やす必要性

令和3年度→令和4年度の不登校者数増加幅(中学校)

たつの市

兵庫県

小野市

約**1.4倍**

約1.2倍

約1.18倍



**他市・兵庫県と比較すると、たつの市の不登校者数は
令和3～4年度にかけて増加**

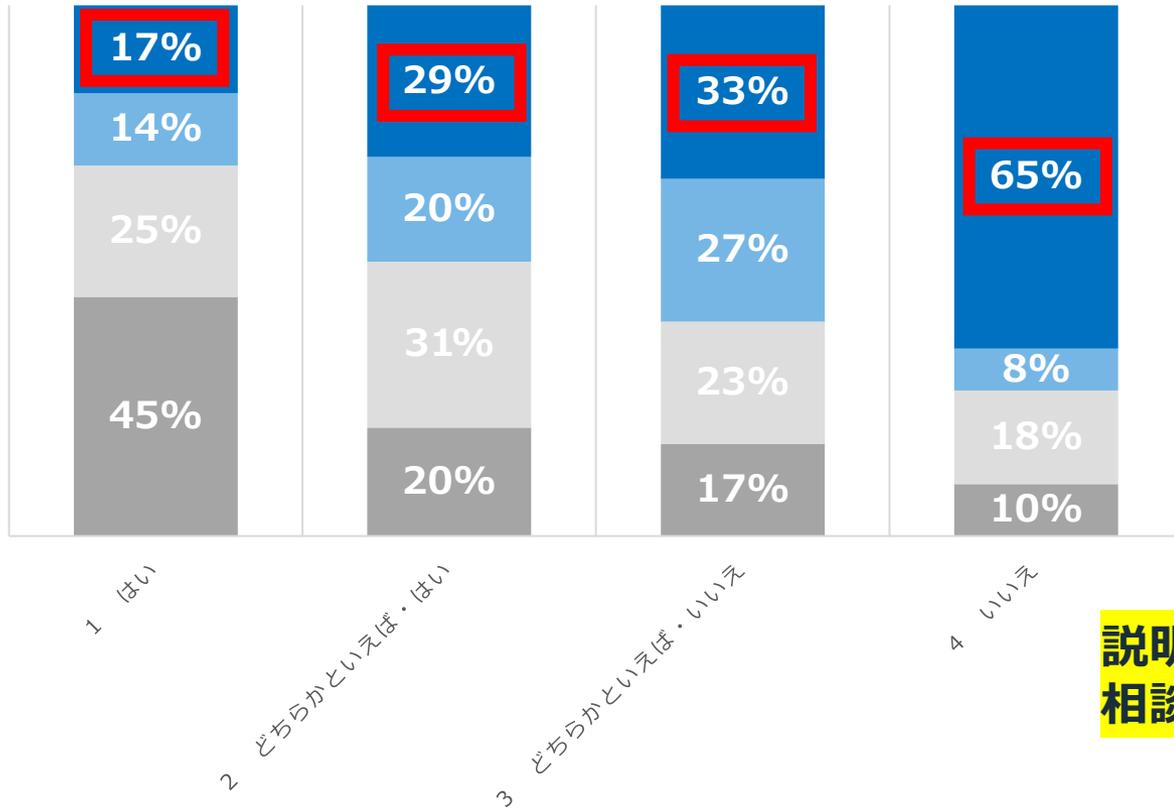
たつの市 (2023) 『たつの市議会だより87号』

兵庫県 (2022) 『令和4年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について』

小野市 (2023) 『令和5年度教育の実践と評価』

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)

II



**被説明変数：家族（大人）
に悩み事を相談する**

- 4 いいえ
- 3 どちらかといえば・いいえ
- 2 どちらかといえば・はい
- 1 はい

**説明変数：
相談できる友だちがいる**

**相談できる友達がない生徒は、家族（大人）にも相談しない
→ 誰にも相談できない**

大人が能動的にこどもへアプローチをする必要

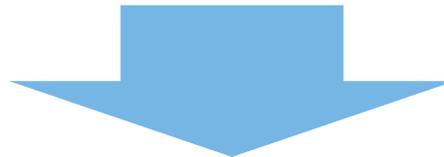
たつのも市在住の小学5年生～中学2年生対象アンケート

問23. あなたが悩んだり、こまったときに
相談できる人はいますか。(複数回答可)



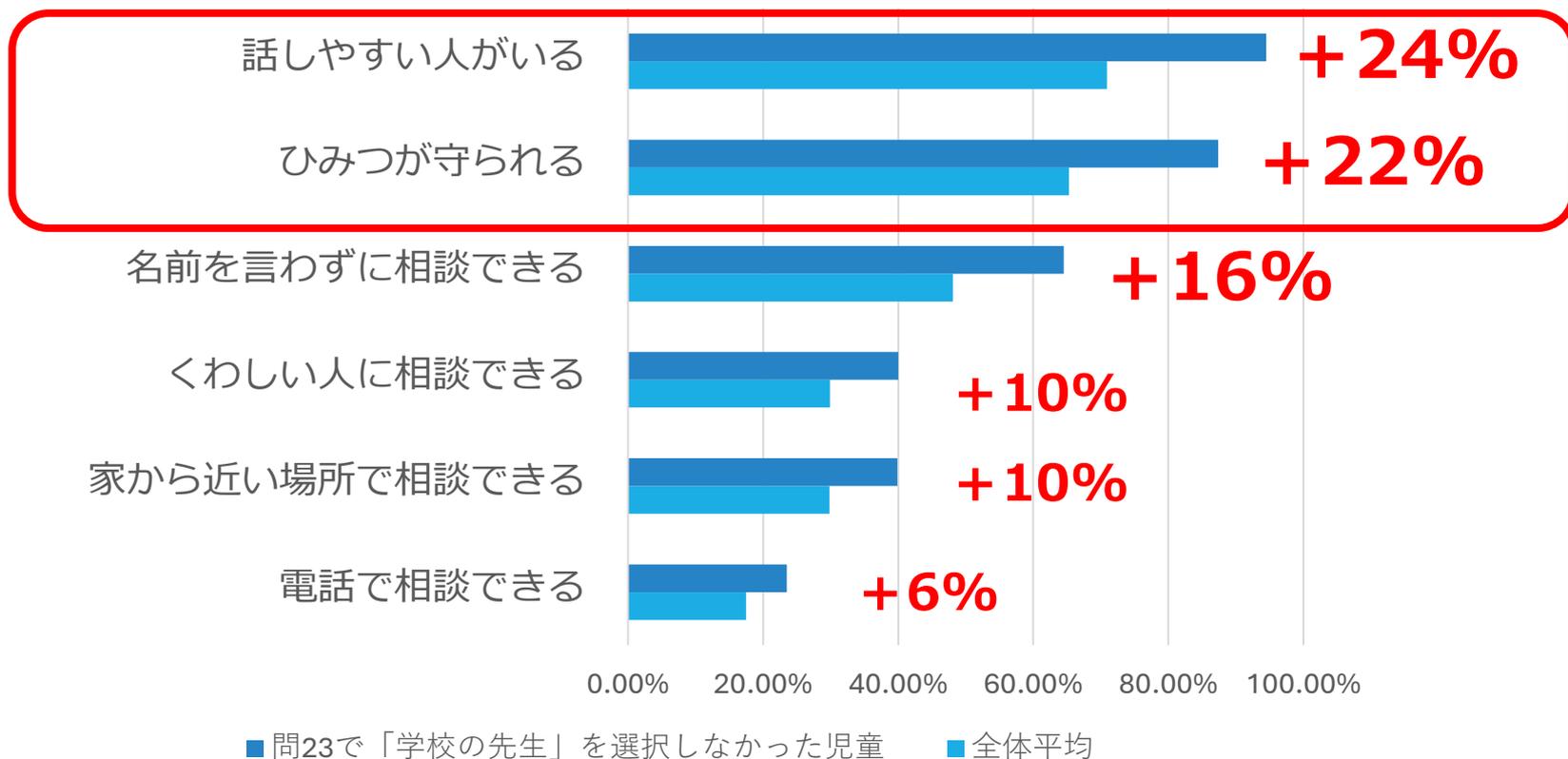
「学校の先生」と
答えた児童は**25.4%**

問25. あなたは学校や市役所などに相談するとしたら、
どのようなことをのぞみますか。(複数回答可)



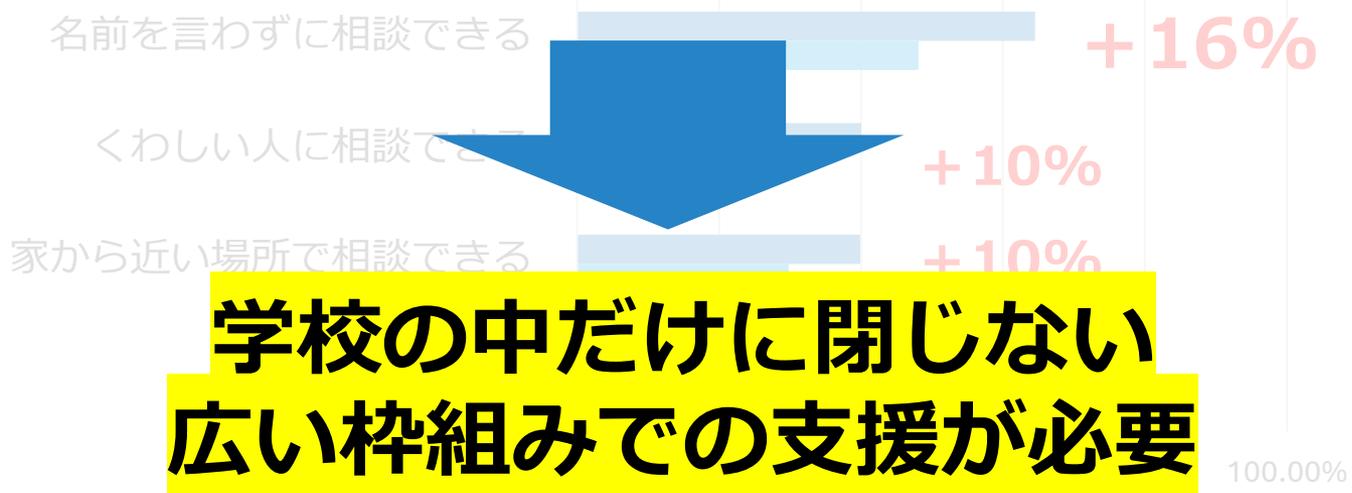
学校の先生に悩みを相談できていない生徒の要望を分析

相談するときに学校や市役所にのぞむこと (問23で「学校の先生」を選択しなかった児童と全体平均の比較)



(問) 学校の先生に相談できない理由 (比較)

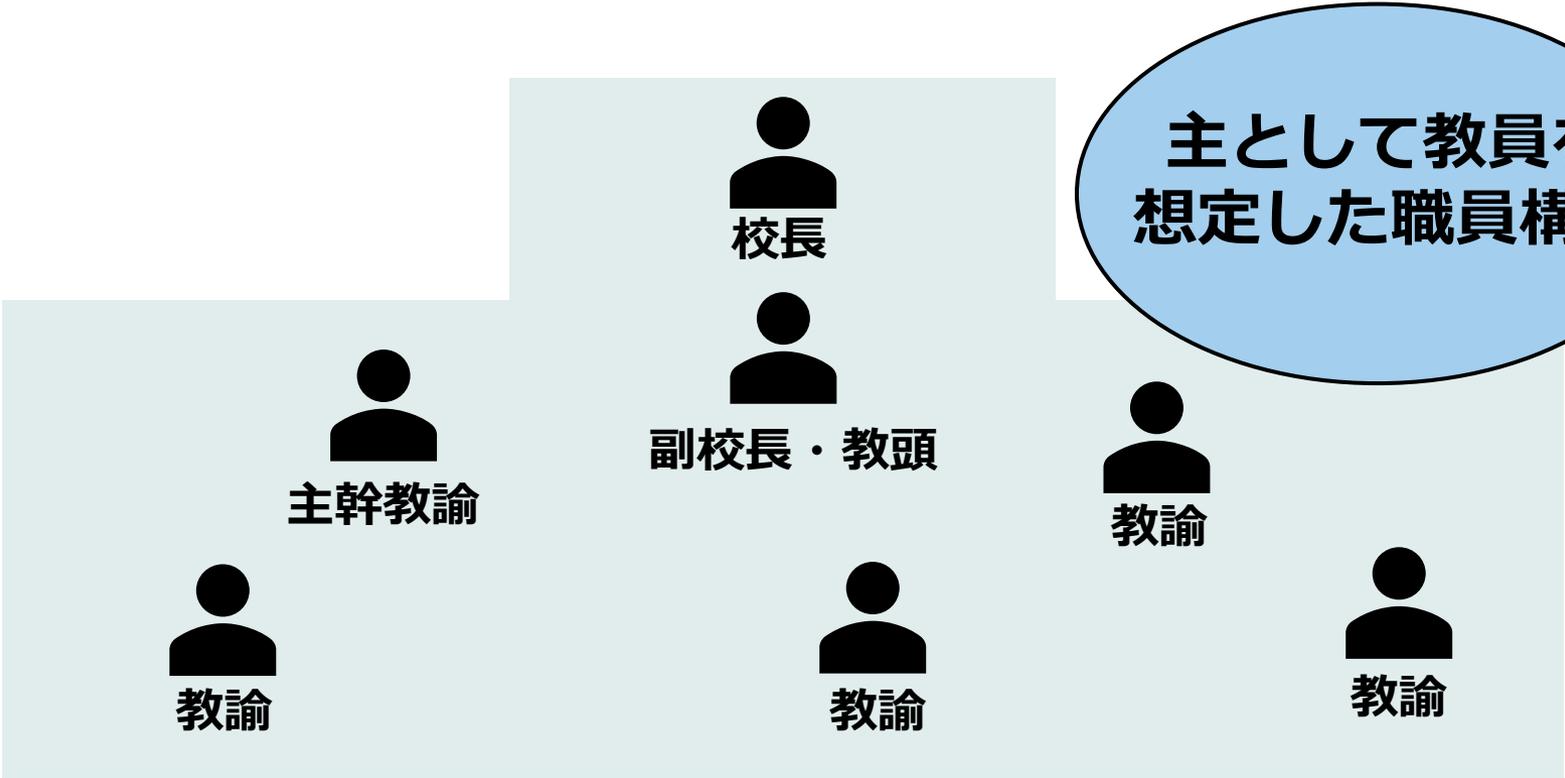
学校の先生に相談できない理由
担任との話しやすさが個々によって違うから
関係性が近すぎるから



**学校の中だけに閉じない
広い枠組みでの支援が必要**

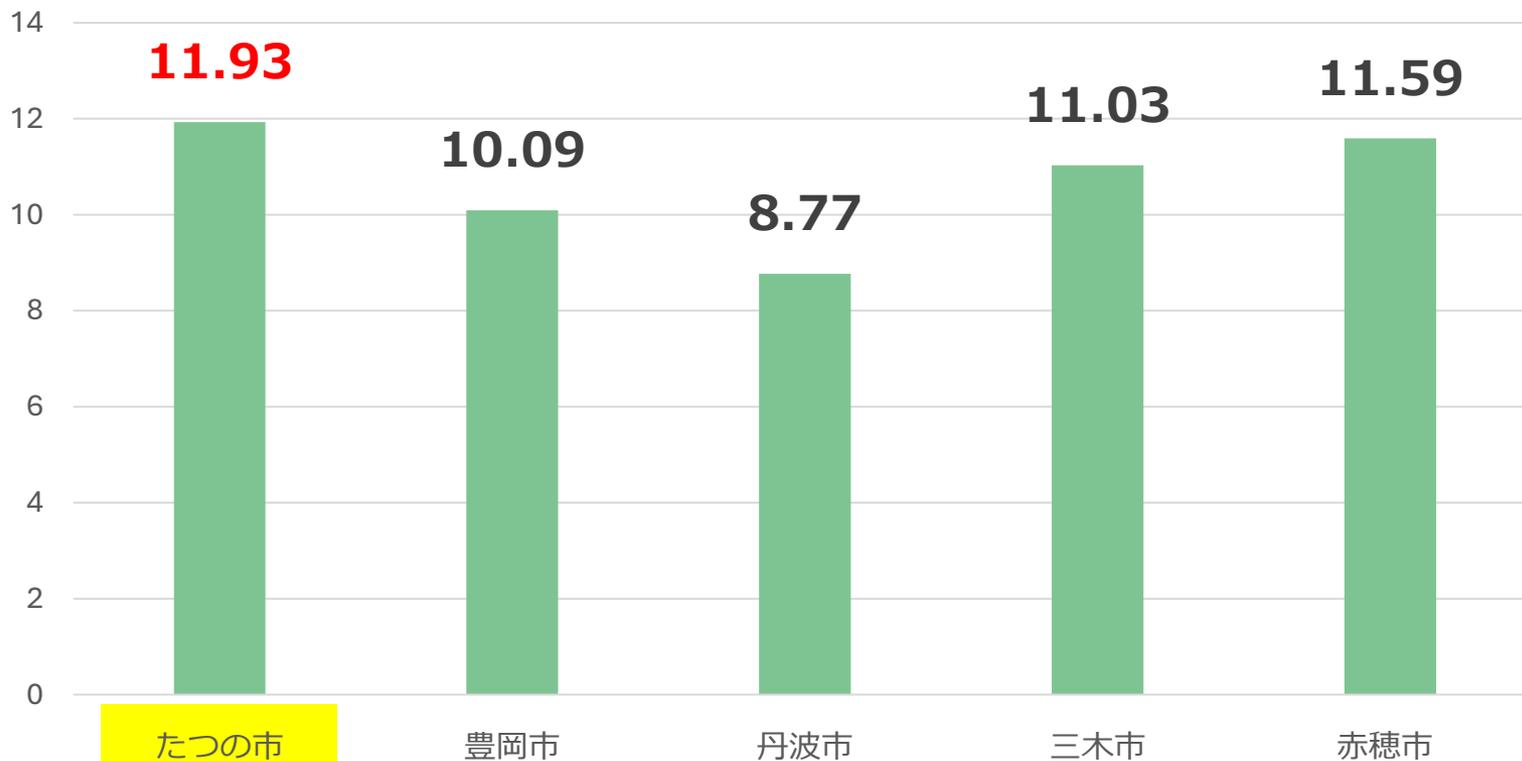
■ 問23で「学校の先生」を選択しなかった児童 ■ 全体平均

従来の学校の体系 (文部科学省より)



地域社会

小学校教員一人あたりの小学生数 (人)



教師1人にかかる
負担が大きい



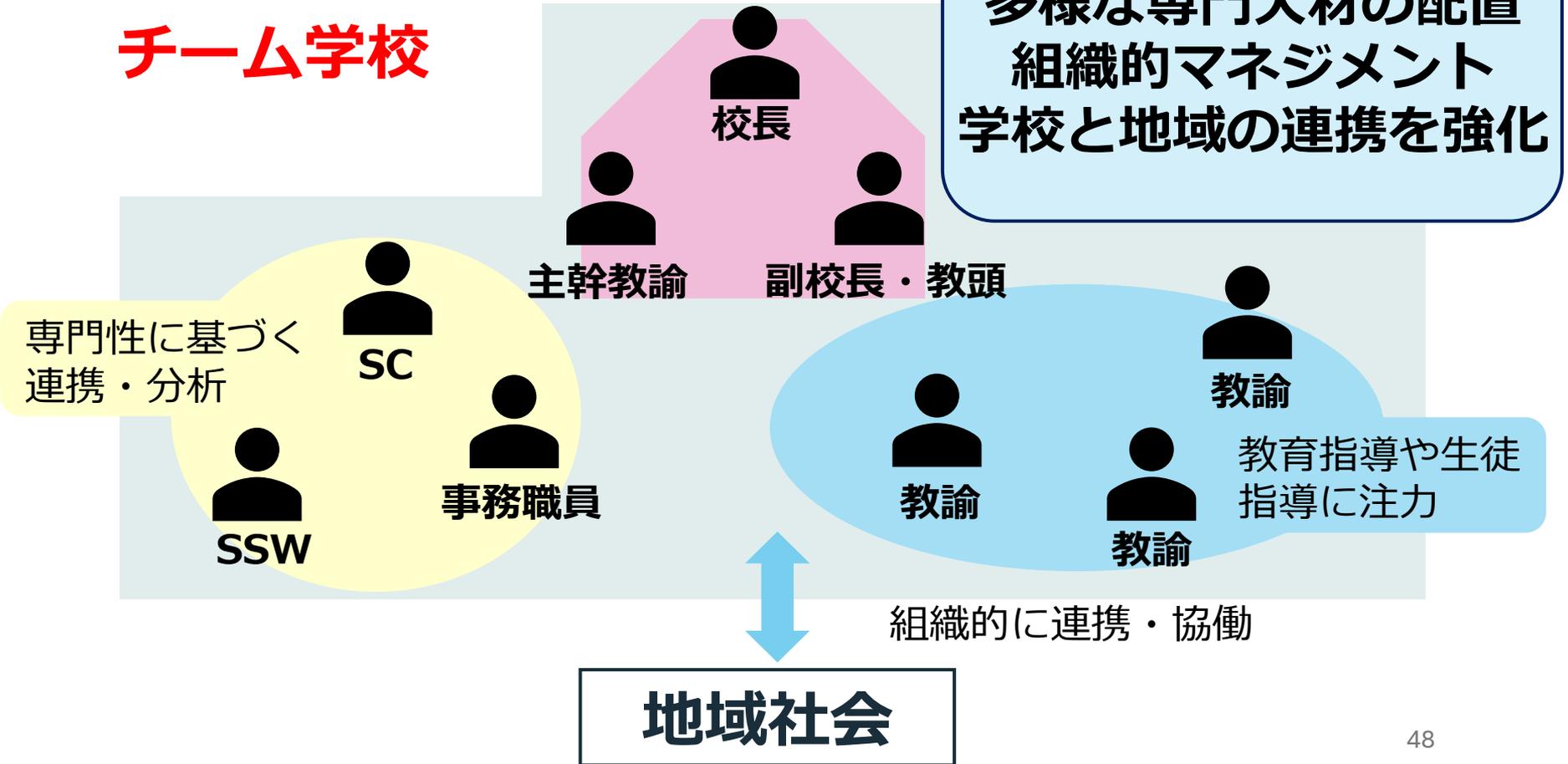
こども1人1人に対する
支援が薄くなる

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)

Ⅱ 現状分析

文部科学省が示す 「チームとしての学校」の在り方

チーム学校



学校、家庭、地域連携の仕組みについて

〈たつの子の現状〉

学校教育課、教育委員会、担任、校長、SC、SSW、主治医、児童福祉課(たつの子こども家庭センター)などが連携

必要な情報を**共有**

個別に対応・
支援につなげている

全数把握が
行われているわけではない



【兵庫県教育委員会】

ひょうご不登校対策プロジェクトの拡充

令和6年度

「学校内の安心できる場所（校内サポートルーム）」の
設置に向けた支援に取り組む



たつのも市においても
拡充する必要性

たつのも市における不登校児童生徒への支援

校内サポートルーム
(別室登校)

中学校 5校 (全5中)
小学校 4校 (全16小)

- ① 不登校のこどもの居場所であるとともにそれぞれのペースで成長できる場
- ② 通常の教室への復帰を前提とはしていない



**早期発見・予防から支援につなげ、
すべてのこどもが安心して学校生活を
送ることを可能にする**

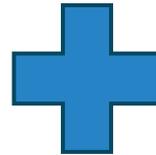


たつのはぐくみの樹 (不登校対策)

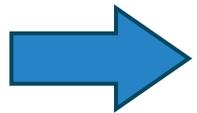


たつの市において

学校プラットフォーム・スクリーニング
(不登校児童の早期発見や予防)



校内サポートルームの全校設置
(不登校支援・居場所づくり)



不登校対策「たつのはぐくみの樹」

たつ市の現状として…
全数把握ができるシステムがない

支援する生徒の基準が
教師によってバラバラ

児童生徒を
検討にあげても支援に
つながらない可能性

共有のみで
一歩踏み込んだ支援に
つながらない

スクリーニング

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)

Ⅱ

政策手段

スクリーニングとは

データに基づいて、潜在的に支援の必要な児童生徒や家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別

客観的データ

+

担任・SC・SSW・支援員など
による多角的な議論

それにより

教師にとって

児童生徒理解
が深まる

SC,SSWにとって

重大事案の予防
につながる

すべてにとって

一人の抱え込み
防止、負担軽減
チーム力の向上



スクリーニングの具体的進め方

スクリーニング会議

{準備}

スクリーニング会議の
日程調整



スクリーニングシート
入力



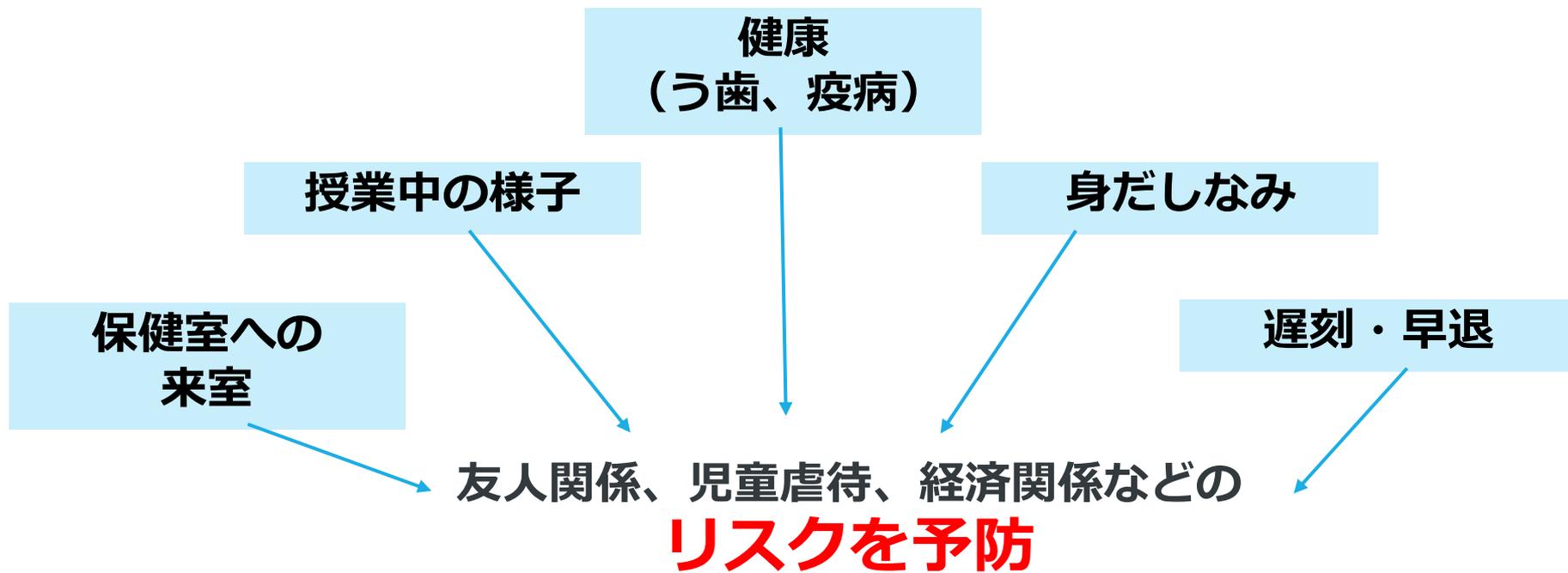
{会議当日}

入力結果の共有
チーム会議にあげるか
議論

チーム会議



学校におけるスクリーニングとは



支援が必要と思われる児童生徒をすくい上げる

スクリーニングシートの例 (大阪公立大山野式を参考に作成)

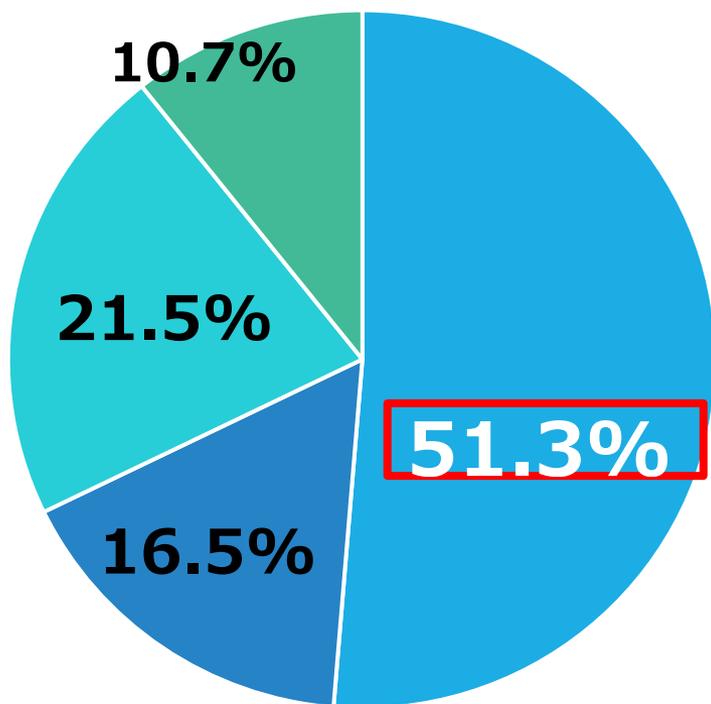
(例)

年	組	番	(名前)	登 校			校内サポートルーム	校外サポートルーム	忘れ物	宿題未提出	友人関係	身だしなみ	健康状態	授業中の様子	勉強
				欠席	遅刻	早退									
1	1	1	たつのはぐくみ太郎	2	1		2		2				1		

- ・ 担任教師がスクリーニング調査を2ヶ月に1回行う
- ・ とても気になる→2点、気になる→1点 をつける



中学1年生時点での不登校生徒の小学校での不登校経験



■ 不登校経験がある ■ いずれにも該当しない ■ 経験なし ■ 情報なし

小学校時期に不登校傾向

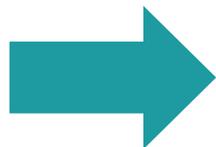


中学校で不登校になる
可能性が高い

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)



	前年度（平成30年度）の不登校者数 (A)	令和元年度に前年度から継続している不登校者数 (B)	令和元年度に不登校でなくなった人数 (A-B)	昨年度に不登校であった者で、当該年度に不登校でなくなった割合 (A-B/A)
小学校6年生	11,172	8,272	2,900	26.0%
中学校2年生	29,754	25,063	4,691	15.8%



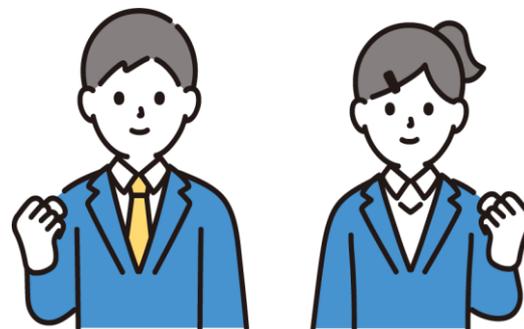
一度不登校の状態に陥ると復帰が難しい

スクリーニングはリスクを「予防」するもの

小学生



中学生



スクリーニングをすることで
不登校児童**減少**

中学生の
不登校生徒も**減少**

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)



たつのも市でおこなう学校プラットフォーム

全体をプラットフォームとして位置づける

チーム学校

スクリーニングを行い、
情報共有

組織的に連携・協働

地域の施設

- ・ たつのも市の施設紹介
- ・ サポート相談…

主治医

保護者

児童福祉課

(たつのも市こども家庭センター)

教育委員会

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)



たつの市において

学校プラットフォーム・スクリーニング
(不登校児童の早期発見や予防)

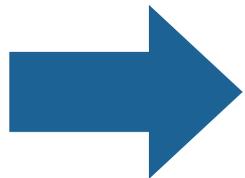


校内サポートルームの全校設置
(不登校支援・居場所づくり)

➡ **不登校対策「たつのはぐくみの樹」**



校内サポートルームの拡充



現状は小学校16校中4校
全小学校にサポートルームの設置

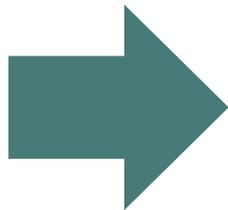
「学校に行かない」と登校するハードルが高まる

教室に行かなくても安心して学校生活を送ることのできる場所を増やす

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)



令和3年度→令和4年度の不登校者数増加幅(中学校)



伊丹市では不登校児童生徒増加率が
たつのも市、兵庫県、他市より低い



成果をあげている伊丹市の学校の取り組み

必要に応じてSCやSSW、
関係機関につなげる

チーム学校

児童生徒の個人状況・
学校対応状況シートの活用

スクリーニング

「別室登校」「放課後登校」など
児童生徒に合わせた対応

**校内
サポートルーム**

たつの市においても



学校プラットフォーム

校



スクリーニング

ング



サポートルーム増設

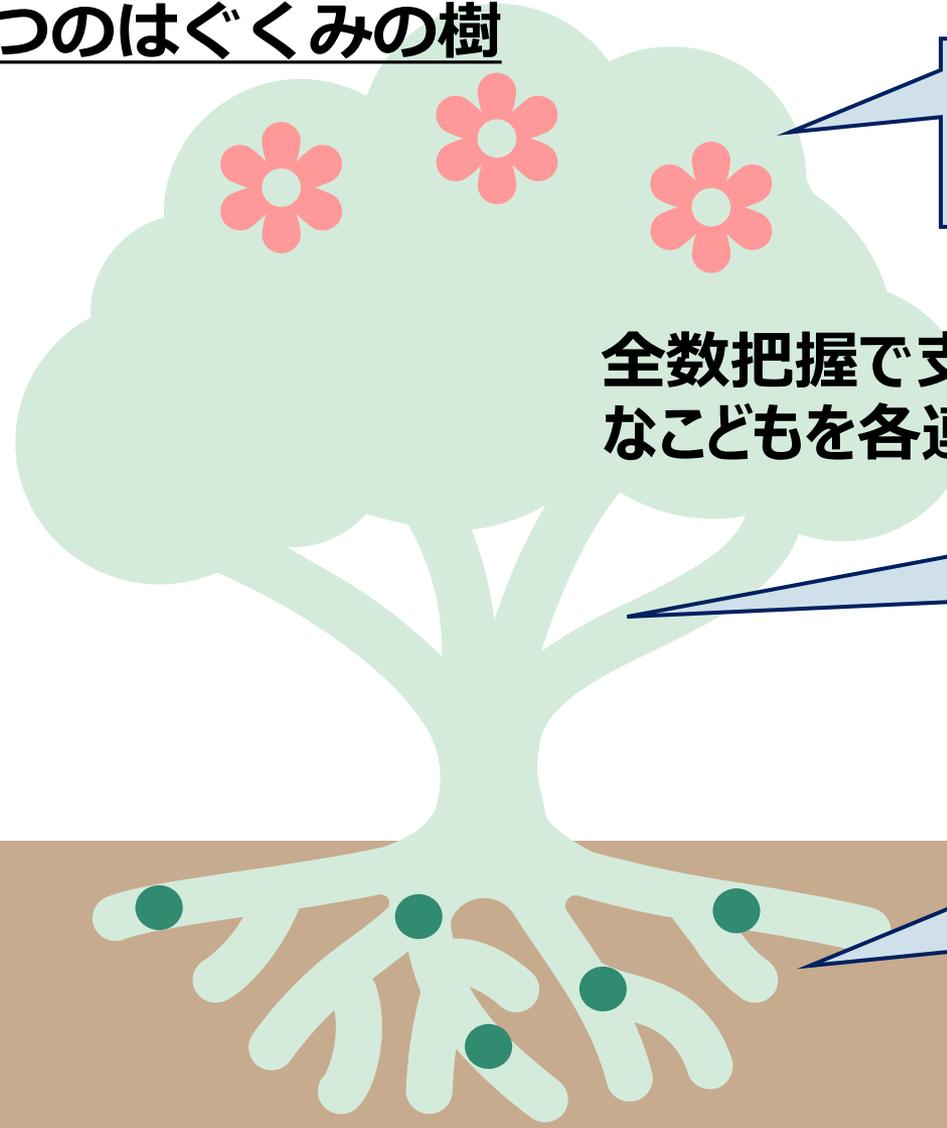
サポートルーム

効果が見込める

たつのはぐくみの樹 (不登校対策)



たつのはぐくみの樹



それぞれのこどもにとって最適な居場所

全数把握で支援が必要なこどもを各連携機関に

チーム会議

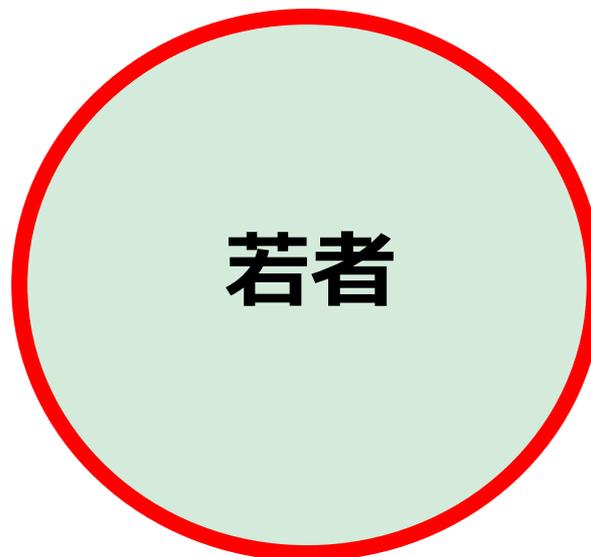
スクリーニング

02-Ⅲ

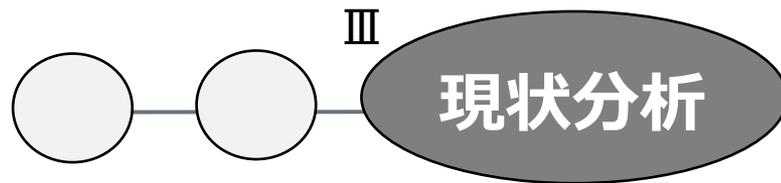
**仕事体験week
(就職支援)**

こども大綱より

こどもまんなか社会



全てのこどもと若者が将来にわたって**幸せな状態**
(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会



「(仮) たつの市こども計画」に加える

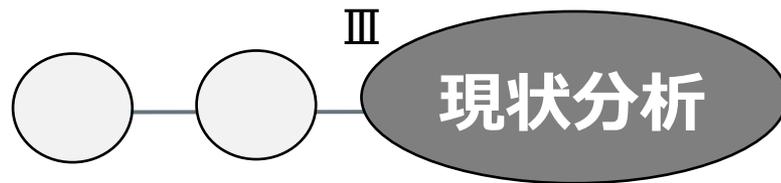
5本目の柱として

基本目標

若者支援

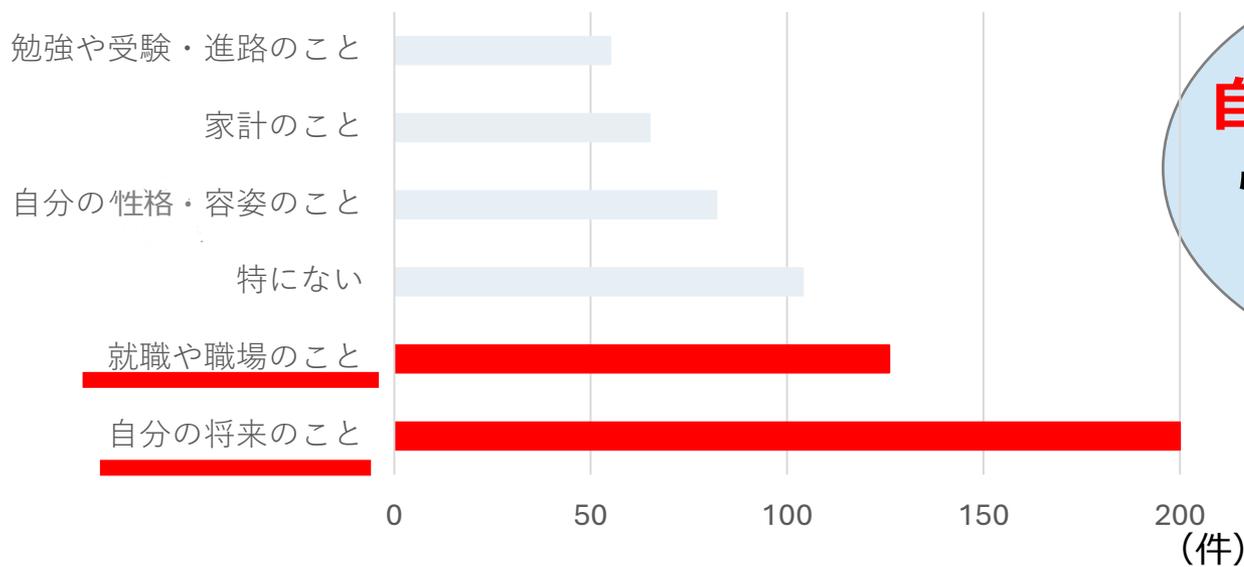
こども大綱において…こども・若者が権利主体

第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画では
若者が対象外



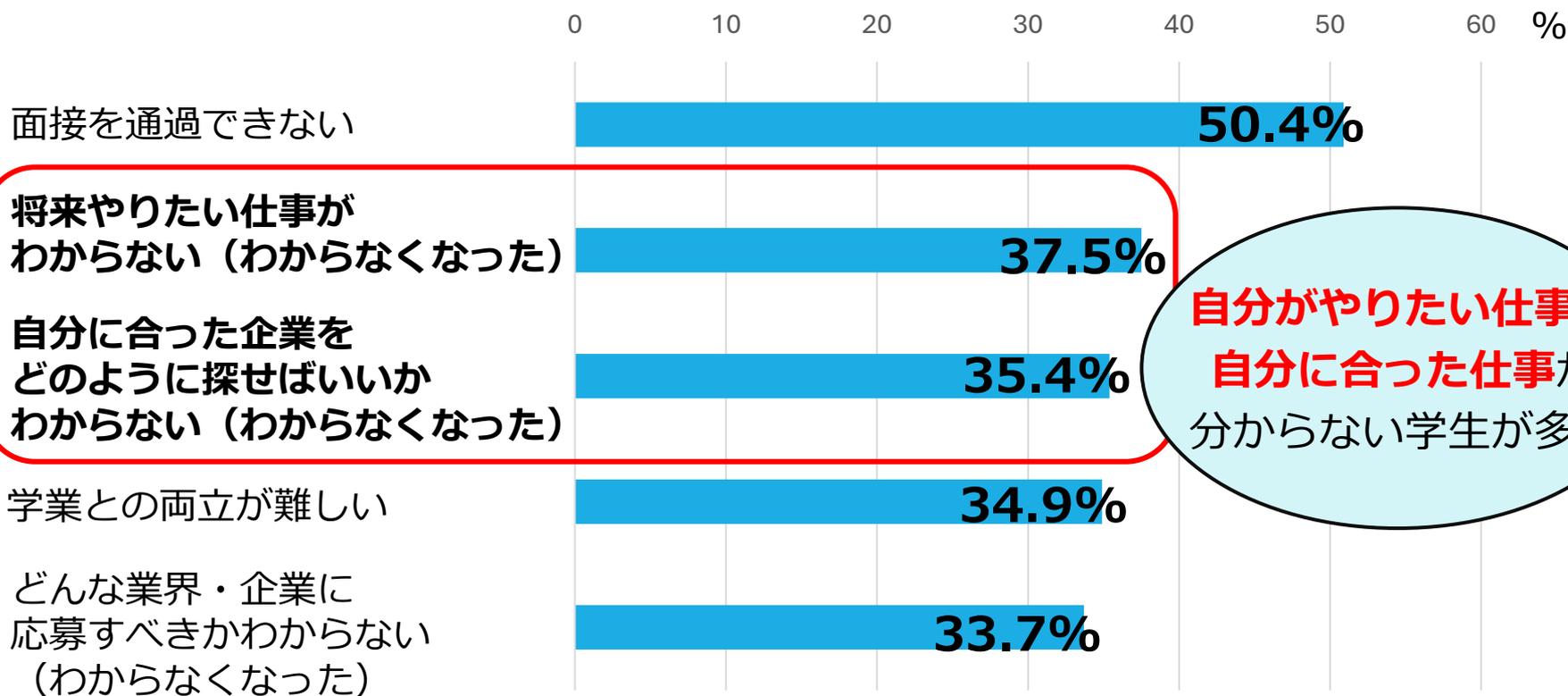
〈たつの市在住15歳～39歳対象（計412人）へのアンケート調査〉

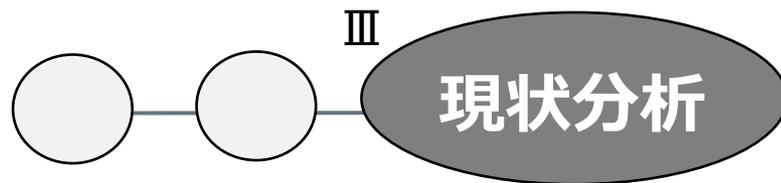
Q. あなたは今、悩んだり困っていることがありますか。



**自分の将来や就職に
悩みを抱えている
若者は多い**

現在就職活動で困っていること（未内定者対象）





現在たつの市で行われている若者向け就労・就職支援

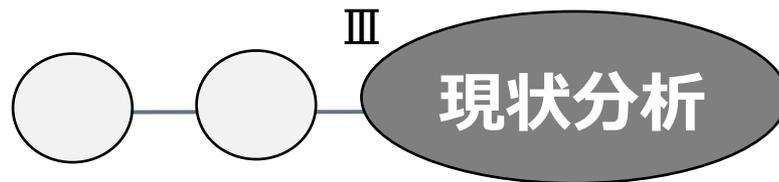
オンライン合同就職説明会

Zoomを活用してたつの市に事業所を有する企業と
地元就職希望者をマッチング

就職フェアinたつの



たつの市に事業所を有する企業で就職面接・相談会を開催
即採用もあり



たつの市において

相談会、説明会の開催は行われているが

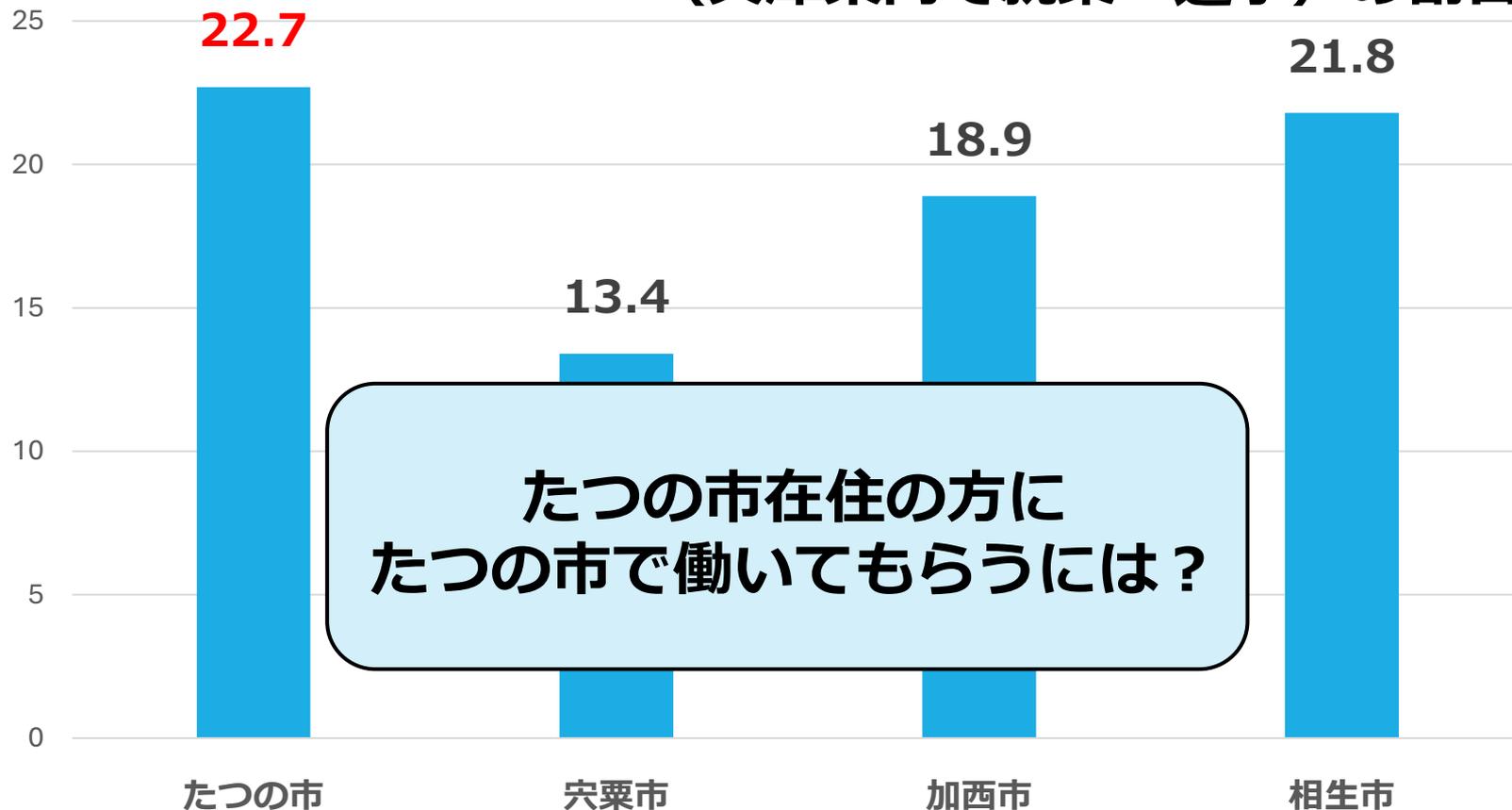
**実際に仕事を体験、企業に足を
運ぶ機会の情報提供は行われていない**



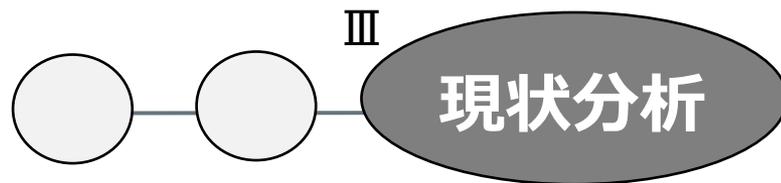
実際に仕事を体験できる機会の周知が必要

総人口に占める他市への流出人口

(兵庫県内で就業・通学)の割合 (%)



たつの市在住の方に
たつの市で働いてもらうには？



「将来もたつの市に住み続けたいと感じますか」という問いに
「3どちらかといえ、いいえ(16.3%)・4いいえ(9.0%)」と答えた人

たつの市に住み続けたくない理由

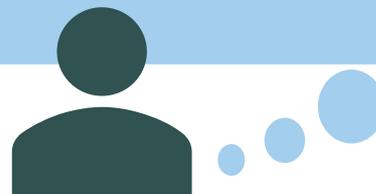
- ①もっと都会に住みたい (51.0%)
- ②道路や公共交通機関の便が悪い (46.2%)
- ③職場・働きたい場所がない・遠い (45.2%)

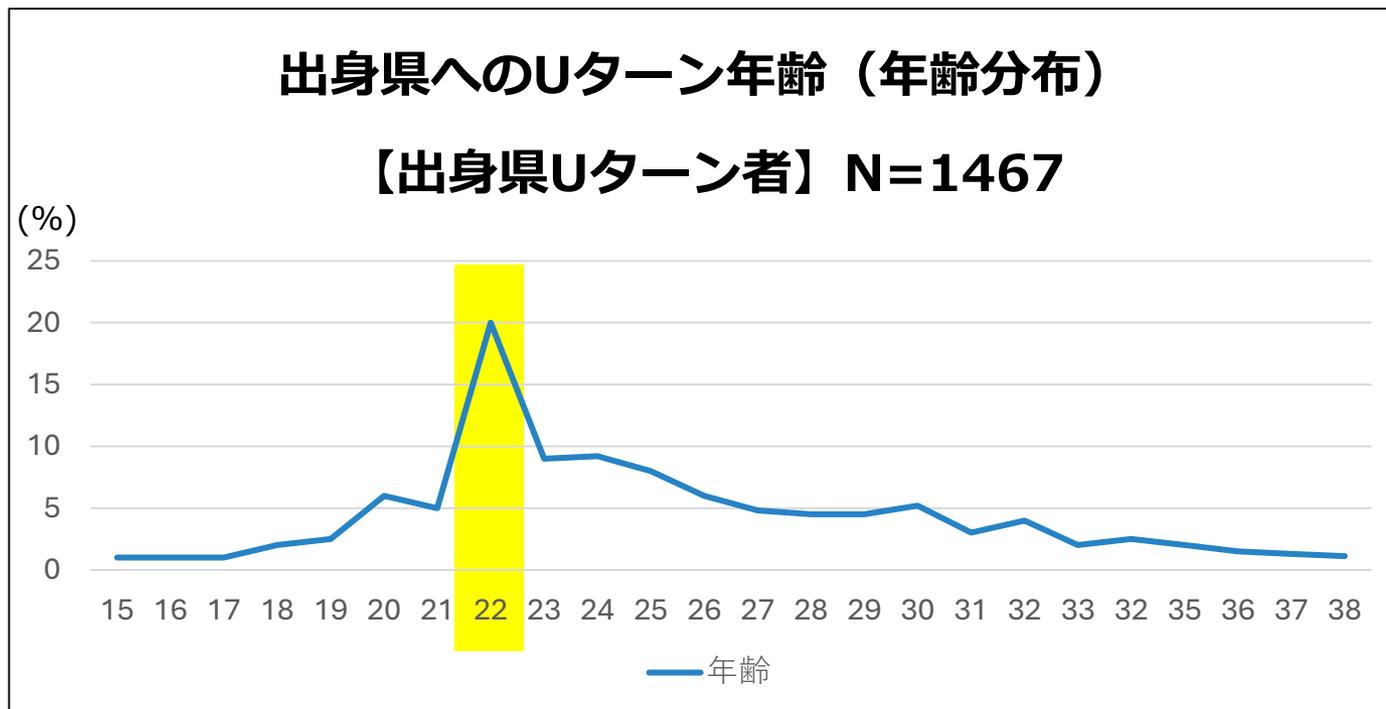
若者が市外へ流出
たつの市の企業について
知らない・身近ではないのでは？

たつの市が抱える問題

やりたい仕事や理想のライフスタイルを
求めて市外へ人口が流出

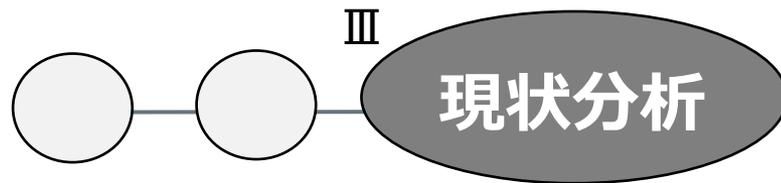
中小企業も多く、人材確保や採用に
苦勞している企業が多い





Uターンの年齢は**22歳**がピーク
大学生が新卒で働く場所に地元を選んでもらう必要がある

仕事体験week (就職支援)



たつの市出身で市外に出ていく
学生に考えられる進路

社会人
市外の企業に
就職が多い

大学生

- ・ 兵庫県内の大学
- ・ 他県の大学

高校生

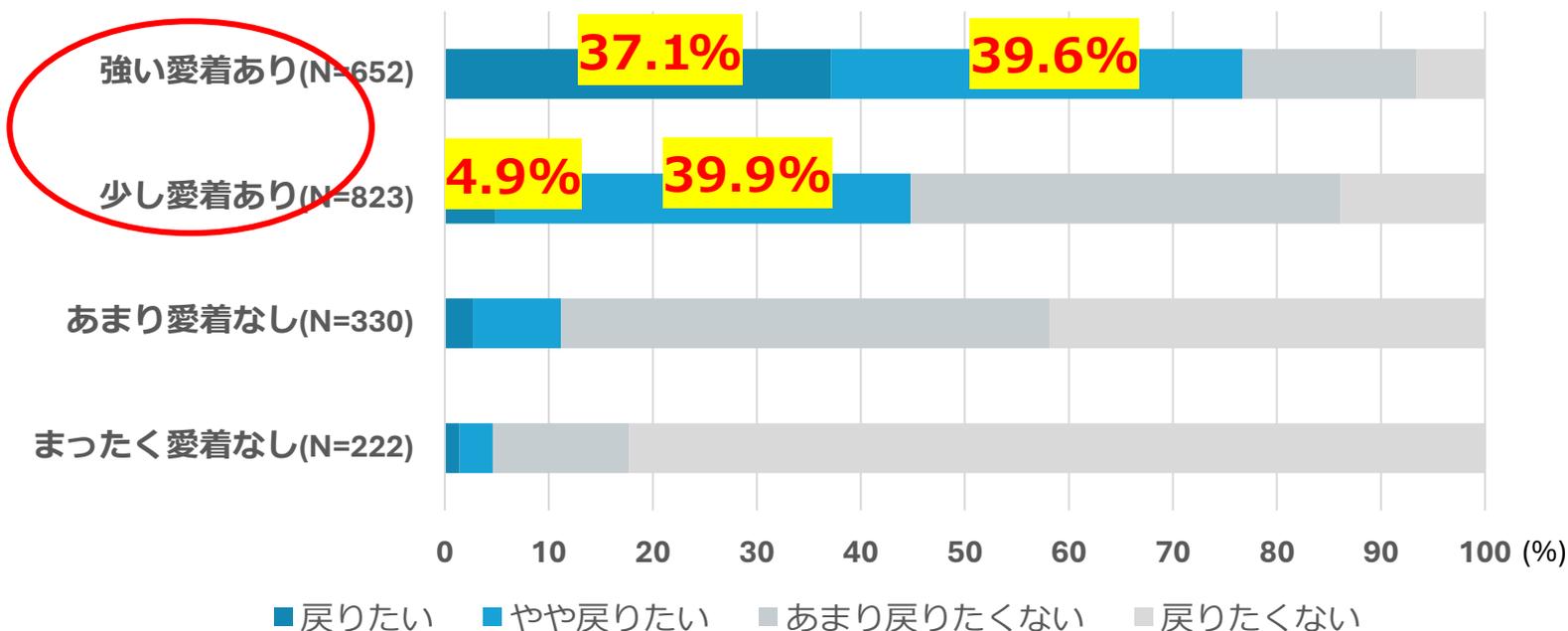
- ・ 市内の高校 (2校)
- ・ 市外の高校

中学生

たつの市内の
中学校

市外への就職が多い
→ 次のステップで働く **大学生** に
たつの市企業をアピール する必要性

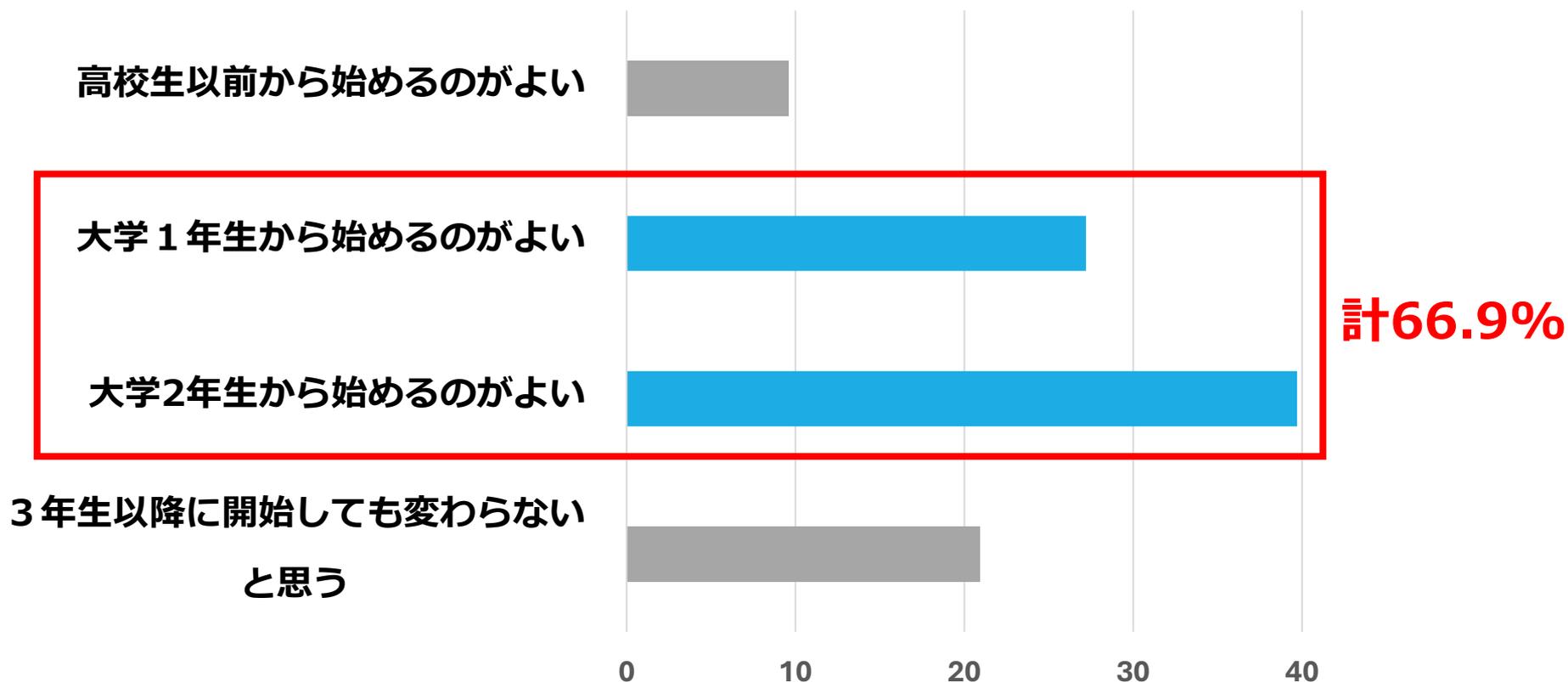
出身県外居住者を対象とした出身市町村へのUターン希望調査 (出身市町村への愛着有無別)

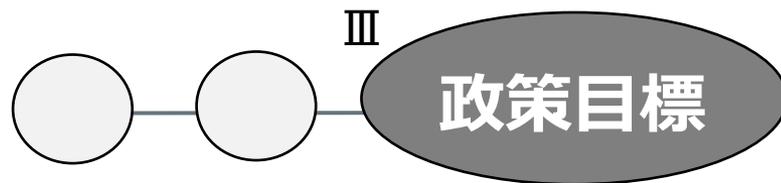


愛着が強いほど、Uターン希望者が多い

➡ 愛着を持ってもらうための就職支援プログラムが効果的

キャリア形成活動を開始する時期についての考え (%)





たつの市の企業についての理解を深めることで
若者に地元企業への愛着を持ってもらい、
Uターンを促進する



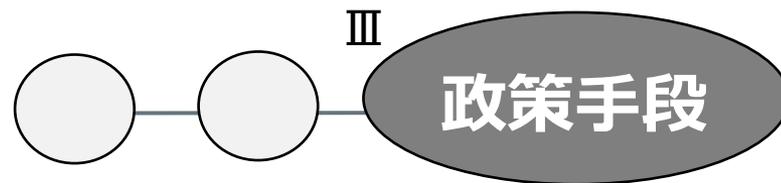
たつの市仕事体験week

たつの市を拠点に経営を行っている企業で、
様々な業界の仕事を一度に体験することができるプログラム

対象

主にたつの市出身の地元外進学大学生
1~2年生





参考例) 金沢市企業エクスターンシッププログラム

～大学1・2年生を対象に金沢ゆかりの企業を紹介～

インターンシップとは違い短期間
地元企業への定着促進や人材育成を図ることが目的

Day1

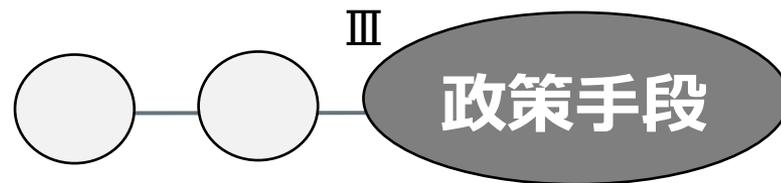
オンライン交流会
～業種を知る～

Day2

エクスターンシップ
～現場で学ぶ～

職場の雰囲気や仕事内容を知り、就労のイメージを掴む

仕事体験week (就職支援)



<例>

1日目

食品メーカー・・・ヒガシマル醤油株式会社

2日目

金融・・・兵庫信用金庫

3日目

商社・・・播磨物産株式会社

4日目

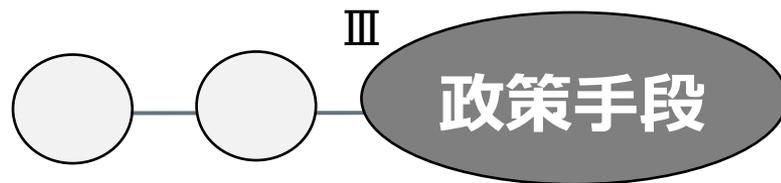
IT・・・learning BOX株式会社

5日目

運輸・・・龍野運送株式会社

様々な業界を
5日間で
まとめて体験可能に

仕事体験week (就職支援)



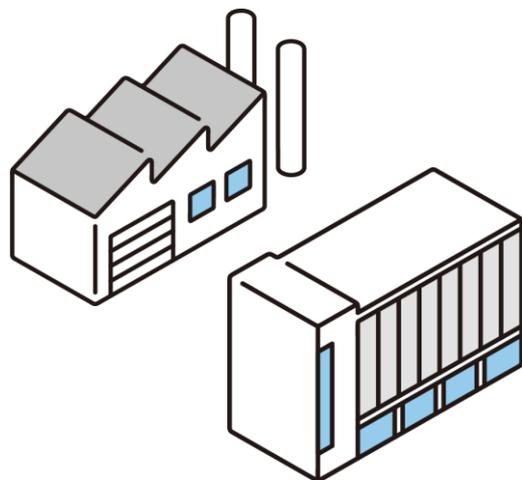
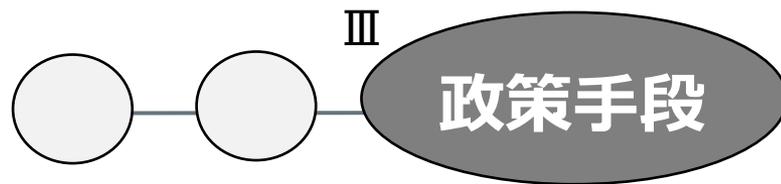
～各企業で想定される1日の流れ～



企業を知ること + 社員さんに関わること



仕事体験week (就職支援)



たつの市の企業

**人員確保
魅力発信
認知度向上**



学 生

**企業理解
業界理解
申込が簡単**



たつの市

**定住促進
Uターン促進**

03

本提言の まとめ

本提言のまとめ

私たちが提案する「(仮) たつの市こども計画」に取り入れる事項

関連する 基本目標

【2】

①子育て支援

こどもの学習支援を行い
保護者の家庭内教育負担を軽減する
とともに親子の関わりを増やします。

【3】

②不登校対策

不安を抱えているこどもを早期発見・
早期予防し、支援体制の充実をはかる
ことで安心な学校生活につなげます。

仮【5】

③就職支援

たつの市の企業についての理解を深め
ることで若者に地元企業への愛着を
持ってもらい、Uターンを促進します。

04

参考資料・
参考文献

参考資料・参考文献

- ・こども家庭庁（2024年5月）「自治体こども計画策定のためのガイドライン」最終閲覧日7月5日
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/5f358887-4ab1-4c56-85ae-5f417e903dbb/43fe1850/20240524_policies_kodomo-keikaku_03.pdf
- ・こども家庭庁（2023年12月）「こども大綱（本文）」最終閲覧日7月7日
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/f3e5eca9-5081-4bc9-8d64-e7a61d8903d0/276f4f2c/20231222_policies_kodomo-taikou_21.pdf
- ・こども家庭庁（令和3年4月）「子ども若者育成支援推進大綱（本文）」最終閲覧日7月7日
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12927443/www8.cao.go.jp/youth/suisin/pdf/r03-taikou.pdf>
- ・令和6年たつの市こどもの生活や思いについてのアンケート
- ・令和6年 たつの市こども・子育て支援に関するアンケート調査
- ・令和6年たつの市こども・若者の生活・意識に関するアンケート調査

【かけはし広場(子育て支援)】

- ・統計局（令和4年5月）令和二年国勢調査 最終閲覧日7月7日
<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>
- ・明石市（2019年）「第2期明石市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査結果」最終閲覧日7月5日
https://www.city.akashi.lg.jp/kodomo/ikusei_shitsu/kikaku/documents/3dai2shou.pdf
- ・三木市（2019年）「三木市 子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査結果報告書」最終閲覧日7月5日
<https://www.city.miki.lg.jp/uploaded/attachment/13660.pdf>
- ・朝日新聞デジタル（2023年）「「親の手伝いが前提」でいいのか 学校の宿題 家庭環境で生じる格差」最終閲覧日6月22日
<https://www.asahi.com/articles/ASR5M46DBR52ULLI008.html>
- ・一般社団法人「宿題カフェ運営サポート協会 しゅくだいカフェ」 最終閲覧日7月5日
[https://syukudai-cafe.net/#:~:text=%E3%80%8C%E3%81%97%E3%82%85%E3%81%8F%E3%81%A0%E3%81%84%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%80%8D%E3%81%AF%E3%80%81,%E7%B6%9A%E3%81%8F%E7%AC%AC%E4%B8%89%E3%81%AE%E5%B1%85%E5%A0%B4%E6%89%80\)%E3%80%82](https://syukudai-cafe.net/#:~:text=%E3%80%8C%E3%81%97%E3%82%85%E3%81%8F%E3%81%A0%E3%81%84%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%80%8D%E3%81%AF%E3%80%81,%E7%B6%9A%E3%81%8F%E7%AC%AC%E4%B8%89%E3%81%AE%E5%B1%85%E5%A0%B4%E6%89%80)%E3%80%82)

参考資料・参考文献

【たつのはぐくみの樹（不登校対策）】

- ・伊丹市教育委員会（2023年）「不登校児童生徒への対応」 最終閲覧日6月29日
<https://www.city.itami.lg.jp/material/files/group/56/r5hutoukou.pdf>
- ・大阪公立大学（2021年）「スクリーニングツールキットを作成しました」 最終閲覧日7月5日
<https://www.human.osakafu-u.ac.jp/ssw-opu/2021/03/31/スクリーニングツールキットを作成しました/>
- ・小野市（2023年）「令和5年度教育の実践と評価」 最終閲覧日6月30日
<https://www.city.ono.hyogo.jp/material/files/group/28/0622.pdf>
- ・たつの市（令和5年）「たつの市議会だより87号」 最終閲覧日6月20日 [komiti87.pdf \(tatsuno.lg.jp\)](#)
- ・内閣府（令和5年）「子供・若者インデックスボード ver.4.0」 最終閲覧日7月7日
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/ba9285a8-96bc-4210-9e15-32d0a4f630fe/5f89e0dd/20230810_councils_shingikai_kihon_seisaku_0sqZmhOz_14.pdf
- ・兵庫県（2022年）「令和4年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」 最終閲覧日6月20日
https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/uploads/sites/8/2023/10/probe_r04.pdf
- ・文部科学省（2020年）「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」 最終閲覧日6月20日
https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_2.pdf
- ・文部科学省（2016年）「「チームとしての学校」の在り方」 最終閲覧日6月14日
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1365408.htm
- ・文部科学省（令和5年）「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について」 最終閲覧日6月19日
https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-aa.pdf
- ・文部科学省（令和3年）「不登校児童生徒の実態把握に関する調査報告書」 最終閲覧日6月30日
https://www.mext.go.jp/content/20211006-mxt_jidou02-000018318_03.pdf
- ・山野則子研究室（2019年）「スクリーニング活用ガイド」 最終閲覧日6月13日
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf
- ・滝充, 「「中1不登校調査」再考－エヴィデンスに基づく未然防止策の提案－」, 国立教育政策研究所, 2009, 138巻, p.157-167.
- ・山野則子, 『学校プラットフォーム－教育・福祉、そして地域の協働で子どもの貧困に立ち向かう』, 有斐閣, 2018, 第6章.
- ・山野則子, 『子どもの貧困調査－子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』, 明石書店, 2019, 第5章.

参考資料・参考文献

【仕事体験week(就職支援)】

・NHK (2023年) 「就活のさまざまな悩み、解決のヒントにつながる記事を紹介します」
最終閲覧日6月12日

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu1136/

・金沢市はたらくサイト「エクスターンシップ金沢」最終閲覧日6月19日

<https://kanazawa-hataraku.jp/worker/externship/>

・総務省「地域の人の流れに関するデータ」最終閲覧日6月27日

https://www.soumu.go.jp/main_content/000460085.pdf

・たつの市 (2019年) 「就労支援の取り組み」 最終閲覧日2024年5月25日

<https://www.city.tatsuno.lg.jp/shoukoukanko/sien.html>

・独立行政法人労働政策研究・研修機構 (2016) 「若年層の地域移動に関する調査」最終閲覧日7月7日

<https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html>

・マイナビキャリアリサーチLab (2024) 「2026年卒大学生インターンシップ・就職活動準備実態調査(5月)」
最終閲覧日7月7日

https://career-research.mynavi.jp/reserch/20240617_79577/

・文部科学省、厚生労働省、経済産業省(2015年) 「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」
最終閲覧日6月12日

https://www.mext.go.jp/content/20210125-mxt_senmon02-000012347_11.pdf

謝辞

本提案の作成にあたり、各種資料の提供や知見をご教示くださった皆様方に厚く御礼申し上げます。

企画財政部企画課様

福祉部児童福祉課様

産業部商工振興課様

教育管理部学校教育課様

特定非営利活動法人いねいぶる 理事長 宮崎様

大阪公立大学教授 山野先生

ご清聴ありがとうございました。

